

＜ 金融変革ラウンドテーブル in 大阪 ＞ 新事務年度の金融行政方針と経営業務運営

近年の金融行政方針においては、金融機関のビジネスモデルの転換が問われています。横並びで量的拡大を競った時代から、各々が独自性あるサービスをどのように実現していくか、各金融機関での様々な創意工夫が期待されています。

そのためには、金融庁自身の改革でも記されているとおり、組織文化やそこで働く役職員の意識の変革が必要になります。

本企画の主催者・協賛者(下記参照)は、金融プロアクティブ人材フォーラムを行政当局の方にも参加いただき開催しています(大阪では本年4月に実施)。

また、地域金融機関の方々と、東京・大阪・名古屋において、経営懇談会や業務研究会を開催し、様々な外部環境の変化への対応を含めて、今後の経営のあり方や業務の方針を考える機会として、ご参加いただいております。

中心メンバーが昨年出版した「フィデューシャリー・デューティー・ワークショップ～金融における顧客本位な働き方改革」(金融財政事情研究会)は、顧客本位の業務運営を考えていく指針の書として各方面で採り上げていただいております。

今回の企画は、新事務年度の金融行政方針も踏まえ、金融機関におけるビジネスモデル変革や組織変革、金融業界における役職員の働き方改革を、参加者一同での対話も交えて考えていくものです。

行政当局(近畿財務局)よりもご参加いただき、また、政府系金融機関の方にもご参加いただき自らの取り組みについてお話いただきます。

行政当局が重視している対話のためには、金融機関が自ら創意工夫を考えていくことが大切であり、そのような場として各位の一助になれば幸いです。

主催 : NPO法人 ちいきみらい、共催 : NPO法人 大学の明日を考える会
協賛 : HCアセットマネジメント株式会社、地域共創ネットワーク株式会社
協力 : きんざい大阪支社

日時 : 2019年11月12日(火) 18:00～20:30

※ 21:00まで、相互の交流として会場を確保しております

場所 : 阪急グランドビル26階 7号室 (地図参照)

大阪市北区角田町8-47 TEL : 06-6315-8368

会費 : 1000円 ※ お弁当を用意しております

定員 : 25名

<当日プログラム概要>

- 主催者(代表紹介参照)からの金融行政方針等への所見解説
- 行政当局や政府系金融機関を交えた参加者一同での意見交換

お申し込みは、特定非営利活動法人ちいきみらいにて承っております。

下記のいずれかの方法でお申し込み願います。

お手数ですが、ご参加される方の法人名・部署／役職・お名前・連絡先(メールアドレス等)を、お書きください。

- ① メール : info@chiikimirai.org ② FAX 03-6684-1009



特定非営利活動法人 ちいきみらい
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-11
住友商事神保町ビル4F
HCアセットマネジメント株式会社付
Tel/03-6684-1008
Fax/03-6684-1009
e-mail/infotankachiikimirai.org



特定非営利活動法人 大学の明日を考える会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-11
住友商事神保町ビル4F
HCアセットマネジメント株式会社付
Tel/03-6680-8988
Fax/03-6680-8989
e-mail/infotankadaigakunoasu.org

阪急グランドビル へのアクセス

阪急グランドビル26階 7号室



〒530-0017

大阪市北区角田町8番47号

アクセス

- 阪急梅田駅(3階改札口)より 徒歩約3分
- JR 大阪駅(御堂筋南口)より 徒歩約3分
- 阪神梅田駅(東口)より 徒歩約5分
- 地下鉄御堂筋線梅田駅(6番出口)より 徒歩約3分
- 地下鉄谷町線東梅田駅(1番出口)より 徒歩約5分

<主催者代表紹介>

坂本忠弘

平成2年、東京大学法学部卒、大蔵省(現財務省)入省。

証券取引等監視委員会、主計局、金融庁監督局、金融副大臣秘書官等を務める。

退官後、平成19年、地域共創ネットワークを設立、地域金融機関の新たなビジネスモデルづくりや成長企業・中小企業等の経営事業支援に取り組む。

震災復興にあたり一般財団法人東北共益投資基金を設立して、初代の代表理事を務め、官民ファンドの執行役員として、地域ファンドの立ち上げに関わる。

経済産業省の「中小企業の財務経営力強化検討コンソーシアム」座長、「知的資産経営評価融資研究会」委員、国土交通省の「住宅ストック活用事業」金融コーディネーター、MUFG Fintechアクセラレータープログラム アドバイザー等も務める。現在、信用金庫の非常勤理事や上場事業会社等の社外取締役を兼務。

昨年5月に出版の「フィデューシャリー・デューティー・ワークショップー金融における顧客本位な働き方改革」(金融財政事情研究会・森本紀行との編著)は、顧客本位の業務運営を考えていく指針の話題の書として各方面で採り上げられる。

森本 紀行

昭和56年、東京大学文学部哲学科卒、三井生命入社。

ロンドンで資産運用業務の後、ファンドマネージャーとして変額保険・団体年金資産の運用に携わり、外国証券・債券運用等の責任者を務める。

平成2年、ワイアット(現ウィリス・タワーズワトソン)に転じ、日本で初めての企業年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げ、取締役として、新しい投資のアイデアを次々導入し業容を拡大する。

平成14年、HCアセットマネジメントを設立、代表取締役社長。自社商品を持たず、実際の運用は厳選に目利きをした外部プロフェッショナルに委託。豊富な投資アイデアに特色。

金融財政事情研究会主催のトップマネジメントセミナー等において、金融機関の資金運用の課題等について、講演等多数。日本投資顧問業協会の理事や各種研究会のメンバー等を務め、行政等に向けた様々な提言の活動も行う。

金融庁の近時の金融行政方針の重点事項となる「資産運用の高度化」や「フィデューシャリー・デューティー」に関して、「ベストプラクティスに向けての建設的な対話」の担い手として、当局と金融業界の橋渡し役の役割を果たす。